

音楽でつながる子どもと学び



子どもたち一人一人が、多様な個性・能力を伸ばし、確実に学ぶこと。
そして、ともに支え合い、高め合いながら
一学年ごと着実に音楽活動の広がりを味わうこと。
平成 27 年度「小学生の音楽」では、弊社のそんな願いを表紙にこめました。
キーワードは「つながり」。
音楽を通して、子どもたちが、学びが、つながっていくことを
「小学生の音楽」が実現します。

音楽の学びの つながり

題材の系統性
P.12・13

題材と
〔共通事項〕の
関わり
P.8・9

各分野の
系統性
P.16～25

やさしく，分かりやすく

どの子どもにも，音楽をする喜びを



【改訂の3つの柱】

1

学びがつながり，
深まる

▶ 精緻な題材構成・配列

2

主体性や
創造性を育む

▶ 充実した音楽活動

3

我が国の文化を
大切にする心を
育む

▶ 各学年に題材化

教育芸術社の『小学生の音楽』では，
ユニバーサルデザインの理念に則って，
教科書の果たすべき役割に正面から向き合っています。

もくじ

音楽でつながる子どもと学び	2
改訂の3つの柱	5

学習内容がひと目で分かる紙面

題材構成のリニューアル

① 各題材は〔共通事項〕を核に！	8
② 指導展開例	10
③ 題材の系統一覧	12

〔共通事項〕の扱い

分野ごとに見る内容の特徴

① 歌唱	16
② 器楽	18
③ 音楽づくり	20
音楽づくりの系統性	22
④ 鑑賞	24

我が国の音楽

① 題材の中での扱い	26
② 歌いつごう 日本の歌	28

学習意欲や知識を高めるコラム

ユニバーサルデザインへの取り組み	32
(特別支援教育／色覚特性／教材開発／道徳・人権教育における配慮)	

【資料】

年間学習指導計画作成資料

第1学年	36	第4学年	42
第2学年	38	第5学年	44
第3学年	40	第6学年	46

(共通事項)の一覧および関連する学習活動例	48
指導書の全体構成と特色	50
デジタル教科書・拡大教科書のご案内	52
検討の観点別に見た特色	54

学習内容がひと目で分かる 紙面

「何を目標に」「具体的にどのような活動を通して」「何を学ぶのか」がひと目で分かるような紙面を目指し、子どもたちに分かりやすい表現で〔共通事項〕を文章中に繰り返し示すなどの工夫を凝らしています。

→ ユニバーサルデザインとの関連についてはP.32・33でご説明します。

1 題材

各学年の目標を実現するために設定したねらいです。学習のまとめや見通しを分かりやすくするため、各題材の始めのページに大きく示しています。

2 学習目標 (学習内容)

題材のねらいに迫るための学習内容を示しています。

3 活動文 (学習活動)

学習活動を展開するための具体的な手だてを、順を追って示しています。

4 吹き出し (活動のヒント)

〔共通事項〕と関連させながら、学習や工夫の観点、学習活動を発展させるためのヒントなどを示しています。

5 写真やイラスト

活動の手だてを豊富な写真やイラストでサポートします。

学びが
つながり、
深まる



1年P.56・57

各題材は〔共通事項〕を 核に！

〔共通事項〕を核として題材を構成することで、題材内のそれぞれの学習を通して気づいたり見つけたりした内容が相互に関連・発展していきます。その結果、子どもたちに学びが身につき、広がり、深まっていきます。

例 4年「いろいろな音のひびきを感じ取ろう」P.36～43

この題材では、〔共通事項〕の中の**音色**を中心にしながら、それぞれの教材の特徴に合わせて、「旋律」や「リズム」「音の重なり」「反復」「変化」などのいろいろな〔共通事項〕と関連させて学習を展開します。

それぞれの学習が
相互に関連・発展

関連・発展

関連・発展

関連・発展

題材のねらい
「いろいろな音の
ひびきを感じ取ろう」
の達成

歌唱
+
器楽

音楽
づくり

関連する主な〔共通事項〕

音色 旋律 リズム 音の重なり
拍の流れ 反復 変化

関連する主な〔共通事項〕

音色 リズム 強弱
音の重なり 反復 問いと答え

〔共通事項〕を
核にしているため、
学びがつながります。

歌唱
+
器楽

関連する主な〔共通事項〕

音色 リズム 拍の流れ

鑑賞

関連する主な〔共通事項〕

音色 旋律 リズム

学びがつながり、深まる

どの学年の題材も、同様な考えで構成していますので、「その教材で何を教えるのか」という視点が明確な指導を実践できます。



指導展開例

4年生の題材「いろいろな音のひびきを感じ取ろう (P.36～43)」を例にして、ご説明します。

鑑賞

2 時間

木管楽器の比較鑑賞を通して、美しい **音色** を味わう。



歌唱+器楽

2 時間

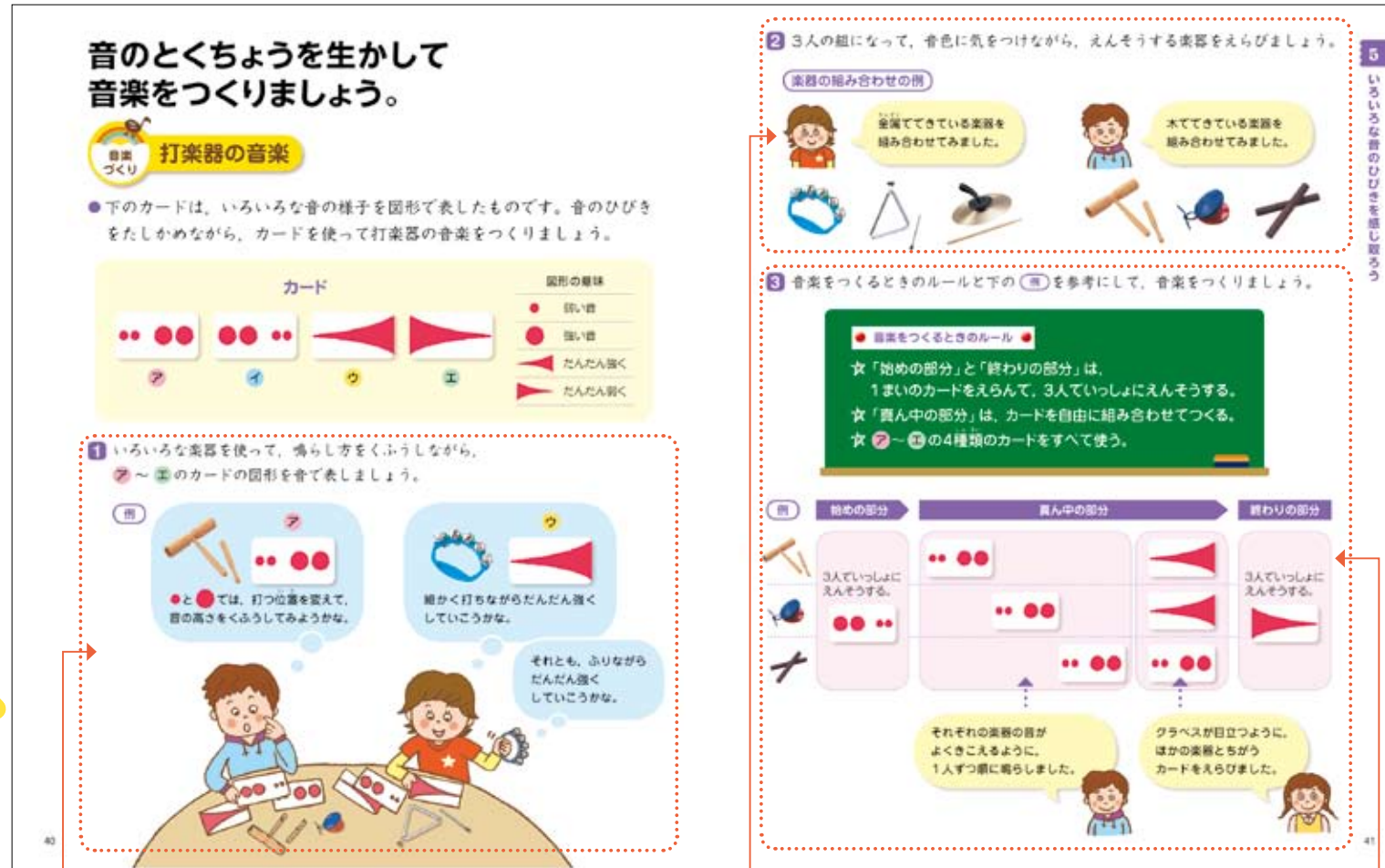
合唱奏を通して、打楽器の **音色** の組み合わせを楽しむ。



音楽づくり

2 時間

打楽器の **音色** の組み合わせを生かして音楽をつくる。



各分野の力をバランスよく、しっかりと育てることができます。



歌唱+器楽

3 時間

器楽合奏を通して、**音色** の魅力や重なり合う響きを味わう。



〔共通事項〕の音色を中心に、気づきや学びを次の教材へつなげていきます。

活動の流れ (例)

1

各自が図形から音をイメージし、**試行錯誤**を重ねながら、即興的な音づくりをする。

思考

判断

2

3人の組になり、「**音色**」に気を付けながら、楽器の**組み合わせ方**を工夫する。

思考

判断

3

「**音色**」の**組み合わせ方**や**重ね方**に気を付け、言語活動を取り入れながら、音楽を構成する。

表現

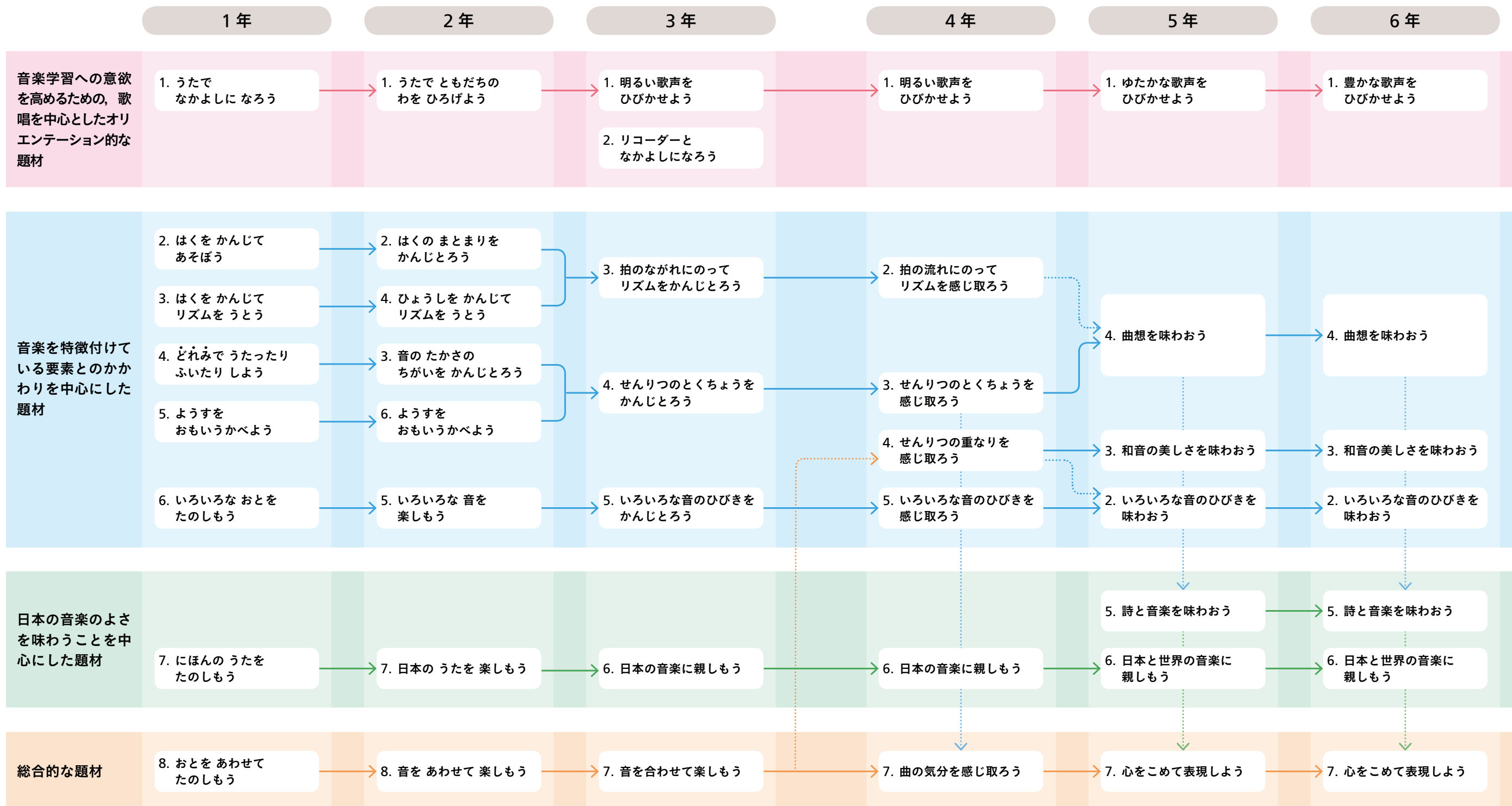
言語活動

1 時間目

2 時間目

題材の系統一覽

学年ごとの流れに加えて、小学校6年間を通して段階的、系統的に学習することができるように題材を構成し、繰り返しの学習や学びの積み重ねによる「学力の定着」を図っています。



中学校へ

小中
一貫

小学校と中学校を通した9年間のつながりに配慮しています。

学びが
つながり、
深まる

→ P.48・49

音楽科の学びの定着については、〔共通事項〕で示されている「音色」や「旋律」といった言葉と、音や音楽そのものが、子どもたちの中で「**実感をともなって結び付くこと**」が大切です。〔共通事項〕のみを扱う学習を目的とするのではなく、まずは音楽そのものを大切にしたいと考えます。

各ページで
着実に
学習する

(共通事項)を含めたさまざまな音楽的な要素を、学習目標や活動文などの文章，キャラクターの吹き出しなどの中で，繰り返し提示しています。

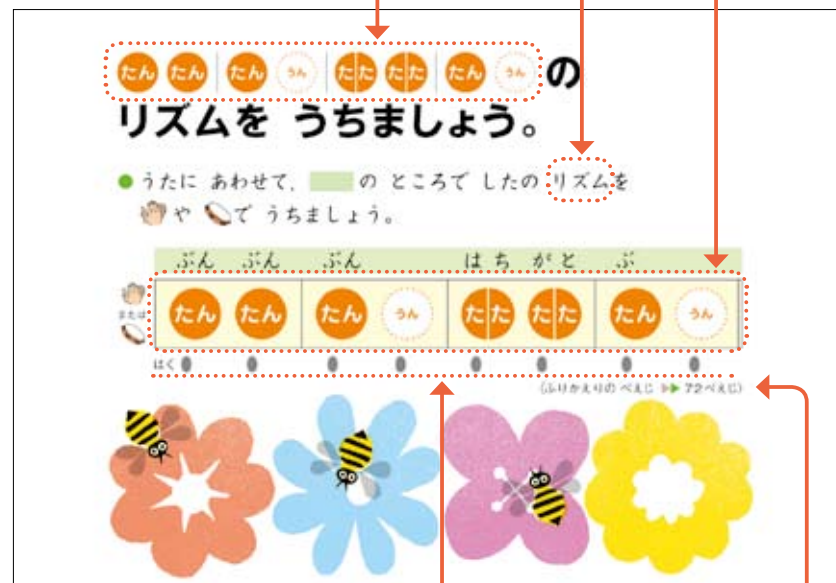


例

リズム

リズム

リズム



1 年 P.22·23

拍の流れ

重要な学習内容は、
巻末の「ふり返りの
ページ」で確認する
ことができます。

子どもに
〔共通事項〕を
分かりやすく
示す

（共通事項）を示す際には、平易な表現や図などを用いて、子どもたちが音楽的な要素を理解できるように工夫しています。

反復

問いと
答え

「三三七拍子」のリズムを用いて、音楽の仕組みを説明した例

食べ物のカードを
用いて、音楽の仕
組みを説明した例

反復

3 年 P. 26

变化

「ふり返りの
ページ」で
ポイントを
押さえ直す

各学年の72・73ページに、「ふり返りのページ」を設け、その学年で押さえておきたい重要な学習内容をまとめています。その学年で学習してきた内容を図表などを用いて示すことで、〔共通事項〕を示す言葉と、音や音楽そのものが子どもたちの中で実感をともなって結び付きます。

6年の例

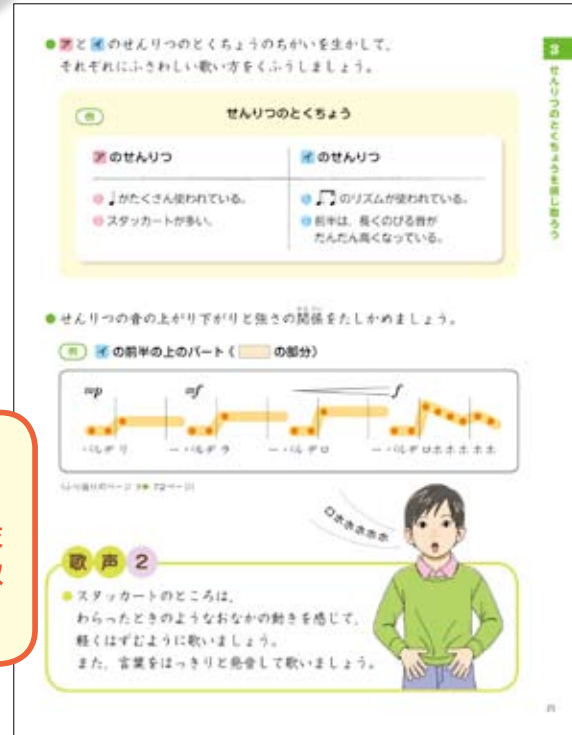


1 年の例

思いや意図をもって
表現する力を
育てます。

思いを
生かして
表現を
工夫する力

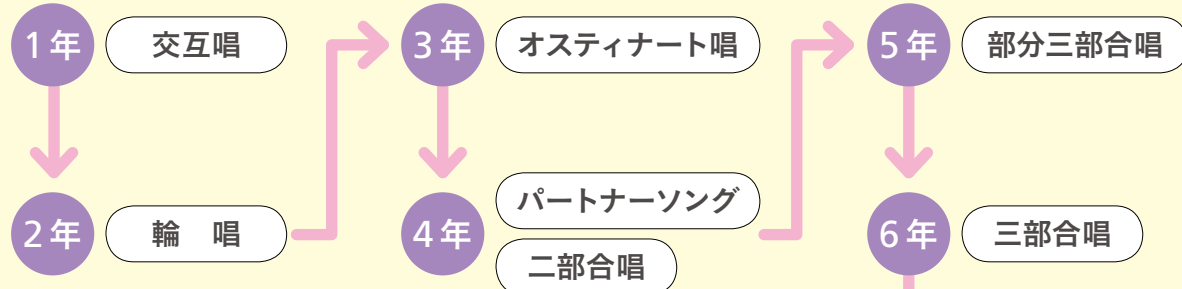
楽譜から〔共通事項〕などの情報や歌詞の内容を読み取り、それを豊かな表現の工夫へとつなげる学習を進めます。



4年 P.25

「こう歌いたい。」という
思いと、それを実現する
ために必要な歌唱の技
能について、コラムで取
り上げています。

声を合わせて
歌う力



中学校の混声合唱へ

正しい音程で
歌う力

階名唱(ドレミで歌う活
動)を繰り返し行い、「音程
感」を養います。

音の高さの違いをイ
メージして歌えるよ
うに風船のイラスト
を用いています。

魅力的な教材

音楽集会などのレパート
リーとしても活用できる曲
を多数取り上げています。



6年 P.35

〔共通事項〕の「強弱」
と「旋律」に注目して、
歌い方の工夫に結び付
けています。



5年 P.8



1年 P.36

楽器との出会いを
大切にしています。

打楽器との
出会い

楽器の音色の楽しさや魅力にふれながら、基本的な演奏の仕方に親しめるように配慮し、音楽づくりの学習や鑑賞学習とも関連させながら取り上げています。

打楽器の演奏の
習熟を兼ねた、
音遊びの活動例

2年 P.37



旋律楽器との
出会い

鍵盤ハーモニカやリコーダーについては、段階を踏みながら分かりやすく説明しています。また、歌と合わせて演奏できる教材や、音楽づくりと関連した教材を通して、楽しみながら学んでいくことができます。



3年 P.18

楽器の演奏の仕方を、
図や写真を用いて分か
りやすく示しています。



4年 P.32

曲想に
ふさわしい
表現を
工夫する力

歌唱教材と同様に、楽譜から〔共通事項〕などの情報を読み取り、曲想にふさわしい表現を工夫しながら、思いや意図をもって演奏できるようにします。

友達と
音や心を
合わせて
演奏する力

高学年では、音や心を合わせてアンサンブルする力を高めるためにはどうしたらよいのかを考えるきっかけとなるよう、コラムを設けて具体的なヒントを示しています。



4年 P.22

スタッカートとレガートの
違いを生かして、演奏
の仕方を工夫します。

音を合わせよう

▶ リコーダーを何人かで演奏する場合には、自分の音やみんなの音をよくきくことが大切です。例えば、吹いた音をみんなで見ると感じるように、音を合わせてみましょう。



5年 P.13

パートの役割を考えよう

▶ パートの役割には、次のようなものがあります。

主な旋律 かざりの旋律 ひびきを豊かにする和音 ひびきを豊かにする和音

それぞれのパートの役割について考えて、演奏に生かしましょう。

6年 P.15

子どもたちが主体的に
合奏に取り組めるように
ヒントを示しています。



学習の積み重ねを
生かします。

工夫の観点が
分かりやすい

学習活動や工夫の観点が簡潔に示されているため、子どもたちが思いや意図をもって音楽をつくることができ、豊かな発想力や構成力の育成につながります。

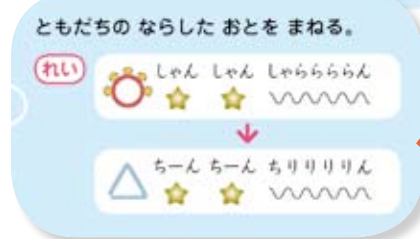


3年P.26-27

活動内容や約束事を絞り込むことにより、思いや意図をもって音楽をつくる学習に集中することができます。

学びが見える
音楽づくり

学習のねらいや作り方の手順、工夫のヒントを分かりやすく示し、さらに子どもたちの作品を例示することで、その学習において何を目指すべきかという活動の見通しを立てやすくしています。



1年P.50-51

音色

2年「かえるの音あそび」P.18-19



声による音遊びの活動を通して、素材としての声のおもしろさに気づく学習をします。

リズム

4年「言葉でリズムアンサンブル」P.16-17



言葉から生み出されるリズムの組み合わせを工夫して、リズムアンサンブルをつくります。

いろいろな
(共通事項)を
用いた
音楽づくりの
教材例

旋律

5年「音階の音で旋律づくり」P.44-45



3, 4年で行った旋律づくりと、旋律線の学習を生かしながら、日本の音階を使って旋律をつくります。

〔共通事項〕を核とした題材構成の中に配置しているため、歌唱や器楽、鑑賞の学習と関連させながら、「音楽づくり」の学習にしっかりと取り組むことができます。

主体性や創造性を育む



音楽づくりの系統性

「前の学年の学びが、次の学年につながる」ように、発達段階を踏まえながら音楽づくりの学習を系統的に構成しているため、学力を着実に伸ばすことができます。



*歌唱, 器楽教材の中で扱う音楽づくりの学習です。

表中のア, イは, 学習指導要領 A表現(3)音楽づくりの内容を示しています。

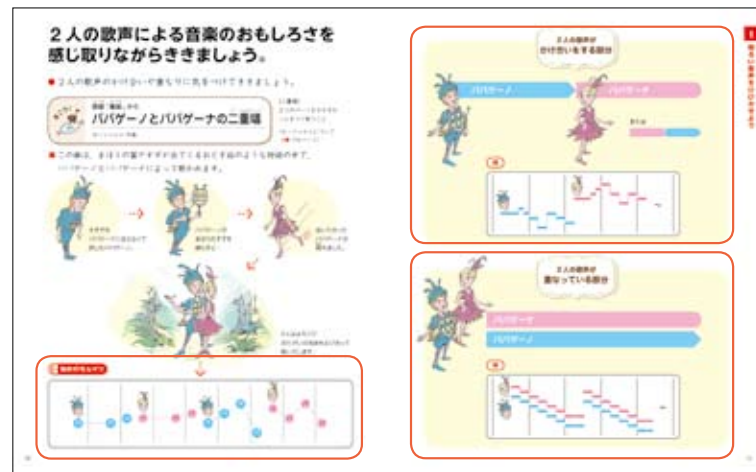


聴く目当てを
分かりやすく
示しています。

教材選択の
工夫と
取り上げ方

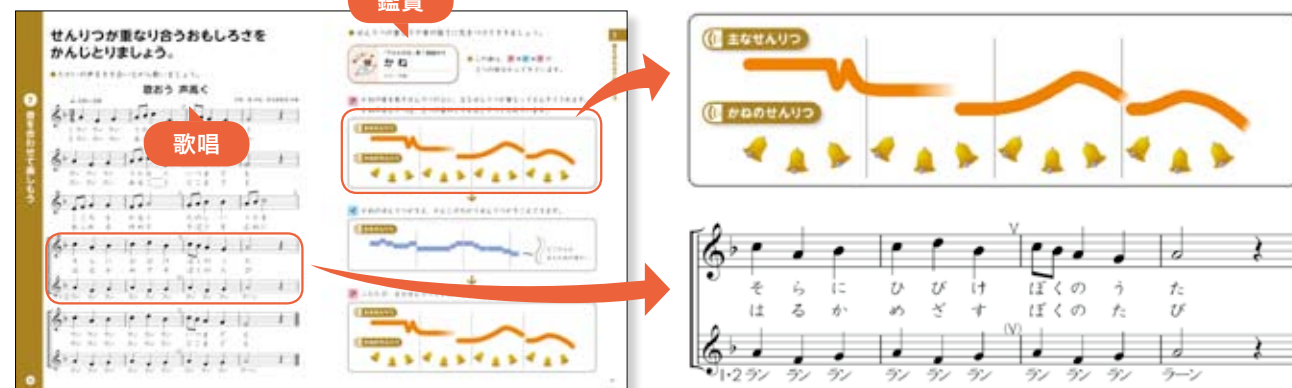
題材のねらいに即して選曲しているため、他教材との関連や聴く観点が明確になっています。また、演奏時間についても配慮していますので、少ない授業時間内でも繰り返し鑑賞することができます。

4年P.10・11



声の重なり方の違いに注目

3年P.50・51



表現教材と鑑賞教材の一体化

聴く目当てが分かりやすく示されているので、初めて聴く音楽でも、そのよさや美しさを友達と共有しやすくなっています。



言語活動の
充実を
図るための
工夫

譜例（絵譜）や吹き出しなどが豊富に示されているため、鑑賞学習時にそれらの音楽的な情報を取り入れることができ、言語活動の内容がより充実したものになります。

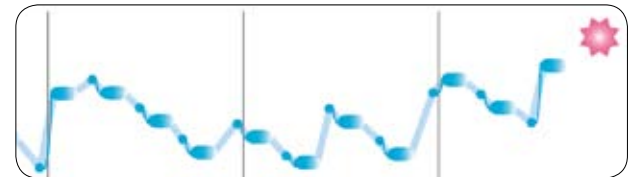


2年P.54・55

子どもたちの発言例



旋律をイメージしやすい絵譜の活用



授業に役立つ
資料ページ

3年P.66・67



4年P.66・67



5年P.68・69



6年P.66・67

音の出る仕組みに焦点
を当て、分かりやすく
示しています。

題材の中での扱い

全学年を通して「日本の音楽」に関する題材を設定し、日本人として我が国の音楽文化に誇りを もつことができるようにしています。

低学年

わらべうた

低学年では、聴いたり遊びながら歌ったりする活動を通して、日本のわらべうたに親しみます。

また、わらべうたを授業で扱う際、学習の目当てを設定しやすくなるように、音楽づくりの学習と関連付けるなど、教材の取り上げ方に配慮しています。



1年P.52・53



クラス全員が楽しめるように、遊び方をイラストで示しています。



2年P.50・51

地域のかたとの交流を図るためのヒントも示しています。

中学年

お囃子や民謡

中学年では、日本各地に伝わる郷土の芸能や民謡の中から音楽の特徴が異なるものを比較鑑賞します。楽器の音色や拍の流れなどに注目しながら鑑賞学習を進め、日本の音楽に親しんでいきます。



3年P.46・47

楽器の音色に注目して、各地のお囃子を聴き比べます。



4年P.44・45

「南部牛追い歌」は、拍のない自由なリズムで歌っていました。

歌い方の特徴と拍の流れとの関係から、民謡の特徴に迫る鑑賞を進めます。

高学年

日本の音楽
世界の音楽

高学年では、我が国の伝統音楽の鑑賞に加えて、諸外国に伝わる音楽の比較鑑賞も設定しています。鑑賞学習を進めながら、我が国の文化に誇りをもつとともに、諸外国の文化を尊重する気持ちも育てます。



5年P.46・47



5年P.40・41

我が国の文化に誇りを持ち、バランスのとれた国際感覚を育みます。



6年P.41

充実した
参考資料

本文の鑑賞教材と関連させながら、日本各地に伝わるお囃子の音楽や民謡を紹介するほか、古くから伝わる楽器や箏の演奏の仕方を掲載しています。



3年P.68・69



4年P.68・69



6年P.66・67



5年P.66

歌いつごう 日本の歌

子どもたちが将来にわたって歌い続けることを願って、童謡や唱歌を数多く取り上げています。

共通教材
「こころのうた」

日本語の美しさを味わいながら歌えるように、縦書き歌詞に加えて楽譜にも全歌詞を掲載しています。また、紙面右上には、それぞれの曲に関連するコラムを子どもたちに分かりやすい内容で掲載しています。

こころの
うた

このロゴには、「太陽のように、歌で子どもたちの心を温かく照らしていきたい。」という思いがこめられています。

歌いつごう
日本の歌

子どもたちの発達段階に応じて、全学年に「歌いつごう 日本の歌」のコーナーを設けました。

季節ごとの行事などで歌える歌、動物や自然に優しいまなざしを向ける心を育てられる歌、日本語の美しさにふれられる歌などを取り上げています。

大切な
日本の歌を
次の世代へ



6年P.18・19



6年P.10・11

歌詞の
イメージを
膨らませる
写真



3年P.54・55

鑑賞との
関連



4年P.50・51

6年P.40・41

▼ 各学年で取り上げられている歌

1年

- たなばたさま
- おしょうがつ
- うれしい ひなまつり

2年

- 夕日
- とんぼの めがね
- シャボン玉

3年

- どこかで春が
- ゆりかごの歌
- 七つの子

4年

- みかんの花さくおか
- せいくらべ
- みどりのそよ風

5年

- 海
- ちいさい秋みつけた

6年

- 夏は来ぬ
- 浜千鳥

音楽プリズム・音楽の歴史をつくった人

音や音楽の多面的な捉え方を通じて、子どもたちの自ら考え、判断し、表現する力を育てます。

音楽プリズム [巻頭ページ]

3～6年の巻頭には、各学年の発達段階に応じて、音楽をさまざまな観点から見つめ直すきっかけとなるようなテーマで特集ページを設けています。



3年 リコーダーのなかま



4年 自然と音



5年 音の力



6年 人をつなぐ音楽

音を出発点にしながら
幅広い学びに向けて
活用できます。

音楽の歴史を つくった人 [巻末ページ]

3～6年の巻末には、その学年の鑑賞教材の中から代表的な作曲家を取り上げ、やさしい言葉でプロフィールやエピソードなどを紹介しています。



3年 P.74



4年 P.74



5年 P.74



6年 P.74

本文の鑑賞教材と関連して
いるため、作曲家への探究
心が表現や鑑賞の学習を深
めます。



6年 P.36・37

ユニバーサルデザインへの取り組み ①

すべての人にとって使いやすい教科書づくりを目指しています。

1.

特別支援教育の 視点に立った配慮

特別支援教育に関する校閲

国立特別支援教育総合研究所 総括研究員
田中良広

教科書の紙面づくりを進めるに当たっては、専門家の校閲や助言をいただきながら、子どもたちが使いやすいように細心の注意を払いました。

とりわけ、学習を進めるうえで大切な文章や楽譜などの情報にしっかりと注目することができるように工夫しています。例えば、多くの視覚的な情報を一度に処理することが困難な子どもたちへの配慮として、優しい色調のイラストや、白を基調とするすっきりしたデザインを採用しています。

2.

さまざまな色覚特性をもつ 子どもたちへの配慮

色彩に関する助言・校閲

色覚問題研究グループ
ぱすてる

色彩を豊かに用いると、学習への興味が増し、学習理解の効果も上がります。しかし、色の感じ方には子どもたちの感性や経験の差による大きな違いがあり、身体的な特性にも個人差があります。つまり、色彩豊かなデザインがすべての子どもたちにとって必ずしも効果的とは言えない場合があります。

そこで私たちは、先天色覚異常（いわゆる色盲・色弱）をもつ方々の助言・校閲を受けながら編集作業を進め、色覚特性の違いが学習内容を理解する過程に影響を与えないように配慮しました。すべての子どもたちにとって使いやすく、学びやすい教材となるよう、また、人々が違和感をもたない色彩になるよう、紙面デザインには繊細な工夫を施しています。

学習目標

学習のポイント



重要な学習内容が
パッと
目に入ってくる

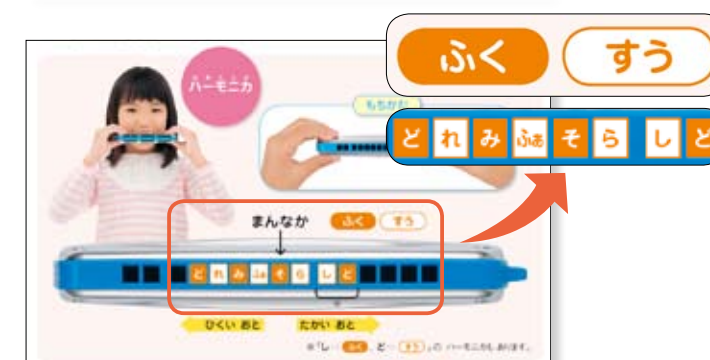
楽器の奏法

▼ 囲みの色と形を変えて区別した例



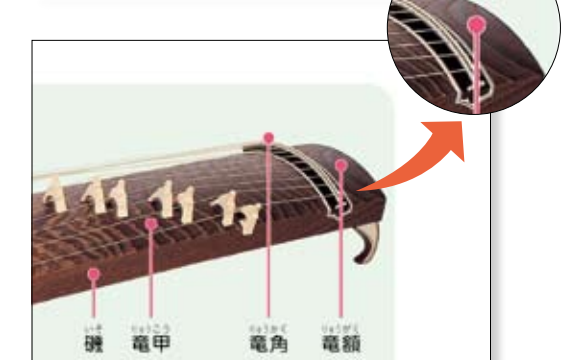
1年 P.56・57

▼ 枠線と色の塗り方を変えて示した例



1年 P.74

▼ 境界線を用いた例



5年 P.40

ユニバーサルデザインへの取り組み ②

教材としての楽曲や挿絵、写真についても配慮しています。

3.

ユニバーサルデザインの 考え方を踏まえた 教材開発

教材開発において、「すべての子どもたちが無理なく歌え、学習内容に迫ることができるように」という考えに基づいて長年取り組んできました。文章や歌詞、楽譜の読みやすさといった紙面づくりに加え、この教材開発における取り組みは、まさにユニバーサルデザインの考え方を踏まえたものです。

1 学習目標にアプローチしやすい教材

発達段階に合わせて、技術的な難易度を設定しています。

2 子どもの心身の発達段階に応じた配慮

子どもたちの声帯に無理な負担がかからないよう、適切な音域を設定しています。

3 音楽的な達成感を味わえる教材

楽しさや達成感を味わうことができ、技術的に無理なく取り組めるものにしています。

4 授業時間や時数と教材の関係への配慮

限られた授業時間、時数の中で、繰り返し演奏したり聴いたりすることができるように、教科書に取り上げる楽曲の長さにも配慮しています。

5 歌いやすさ、歌詞の分かりやすさへの配慮

言葉の自然な抑揚やアクセントを生かした旋律になるように配慮しています。



これらを実現するために……

教育芸術社は、上記の観点や子どもたちの実態を踏まえ、実際に教材の試演を行うなど、よりよいものに磨き上げる過程をしっかりと踏みながら、教材開発を行っています。

4.

道徳教育や 人権教育における配慮

互いの人権を尊重し合うこと、つまり「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めること」は、人権教育の理念でもあります。

教科書で取り上げている楽曲の歌詞の内容やイラスト、写真については、道徳教育や人権教育の観点に立って十分に吟味して選んでいます。

互いに認め合う
気持ちを育む
イラスト



4年P.6・7

5年P.6



友達との
人間関係を
考えるきっかけに
なる教材

- 3年P.6「友だち」
- 5年P.8「すてきな一歩」
- 6年P.44「きっと届ける」

働くことの
大切さや
家族を敬愛する
気持ちに
つながる写真



3年P.15



2年P.51

第1学年				年間学習指導計画作成資料			◎…共通教材 ♪…鑑賞 ☆…音楽づくり			学習指導要領の内容との関連（例）											道徳との関連 （例）					
扱い 月	扱い時数 合計 68	題材名		題材のねらい	学習目標	教材名	A 表現						B 鑑賞			（共通事項）										
							歌唱				器楽		音楽づくり		鑑賞											
							ア	イ	ウ	エ	ア	イ	ウ	エ	ア	イ	ア	イ	ウ	ア	イ					
4	6	1. うたで なかよしに なろう	●友達と一緒に歌ったり体を動かしたりする楽しさを感じ取りながら、音楽への興味・関心をもつ。	・みんなでいっしょに うたって、ともだちをつくりましょう。	うたで さんぼ	●●																拍の流れ		2(1) 礼儀 2(3) 友情		
				・ともだちと いっしょに なかよく うたいましょう。	ぞうさんの さんぼ	●●																				
				＊みんなであそびながら たのしく うたいましょう。	てと てで あいさつ	●●																				
5	5	2. はくを かんじて あそぼう	●音楽に合わせて体を動かしながら歌ったり聴いたりして、拍の流れを感じ取る。	・おんがくに あわせて からだを うごかしましょう。 ・はくを かんじながら なまえあそびを しましょう。 ＊はくに のって、 からだを うごかしながら うたいましょう。	♪さんぼ なまえあそび ◎かたつむり										●		●○●				拍の流れ		1(1) 規則正しい生活 3(1) 生命の尊重			
6 7	12	3. はくを かんじて リズムを うとう	●歌ったり体を動かしたりしながら、拍の流れを感じ取る。 ●リズムの違いに気付き、拍の流れにのって簡単なリズムを演奏したり、リズムに合う言葉を選び組み合わせて表現したりする。	・[たん たん たん うん] の リズムを うちましょう。	じゃんけんぼん	●○				●		●●												リズム 拍の流れ フレーズ 反復 問いと答え		4(1) 約束やきまり
				・[たん たん たん たん たん たん たん うん] の リズムを うちましょう。	みんなで あそぼう	●		○		●		●●														
				・[たん うん たん うん たん たん たん うん] の リズムを うちましょう。	♪しろくまの ジェンカ	●○				●		●●						●●●								
				・[たん たん たん うん たた た たん うん] の リズムを うちましょう。	ぶん ぶん ぶん	●○				●		●●														
				・ことばを つかって おんがくをつくりましょう。 ＊うたに あわせて、 からだを うごかしながら うたいましょう。	☆ことばで リズム ◎うみ									●●												
9 10	10	4. どれみで うたったり ふいたり しょう	●階名で模唱や暗唱をしたり、まねっこ遊びをしたりして、階名に親しむ。 ●鍵盤ハーモニカの基本的な演奏の仕方を身に付けたりきれいな音に気付いて聴いたりする。	・けんばんハーモニカを ふきましょう。	♪みつばちの ぼうけん												○●○				音色 旋律 拍の流れ 反復		1(2) 勤勉、努力			
				・どと その いちを おぼえましょう。	たのしく ふこう	○				●		●●														
				・どれみの いちを おぼえて ふきましょう。	どんぐりさんの おうち	●○				●		●●○														
				・どれみふぁその いちを おぼえて ふきましょう。	どれみで あいさつ	●				●		●●														
				・どれみふぁその まねっこ	なかよし	●			●		●●●															
				・どれみふぁその まねっこ	どれみふぁその まねっこ					●		●●														
				・おとの たかさを たしかめながら どれみで うたいましょう。	どんぐりさんの おうち（どれみ） どれみの まねっこ	●		●																		
11	6	5. ようすを おもいうかべよう	●楽曲の気分を感じ取りながら、想像豊かに聴いたり思いをもって表現したりする。 ●歌詞の表す様子や気持ちを想像して、歌い方を工夫して歌う。	・こねこたちが おどっている ようすをおもいうかべながら ききましょう。	♪おどる こねこ											●●●				音色 速度 旋律 拍の流れ		3(2) 動植物愛護				
				＊はくに のって、 のびのびと うたいましょう。	◎ひのまる	●●●○																				
				・かしを たいせつに して うたいましょう。	はる なつ あき ふゆ	●●●○																				
12	9	6. いろいろな おとを たのしもう	●身近な楽器の音色の特徴を感じ取り、演奏の仕方や楽器の音色に興味・関心をもって演奏したり音楽をつくったりする。 ●楽器の特徴的な音色を感じ取り、楽曲のよさやおもしろさに気付いて聴く。	・みみを すまして いろいろな おとを ききましょう。	♪シンコペーテッド クロック											●●●				音色 リズム 強弱 反復		3(3) 感動する心				
				・ほしぞらの ようすにあう おとで えんそうしましょう。	きらきらぼし	●●●●	●●●●	●																		
				・いろいろな おとを みつけて ならしましょう。	おとさがし					●		○														
				・ほしぞらの ようすを あらわす おんがくをつくりましょう。	☆ほしぞらの おんがく							●●														
1	2	7. にほんの うたを たのしもう	●友達と一緒に歌ったり音楽に合わせて体を動かしたりして、日本に伝わるわらべうたの楽しさを感じ取る。	・わらべうたを きいたり うたったり しましょう。	♪さんちゃんが／おおなみ こなみ	●										●		●		速度 旋律		4(5) 郷土愛				
				・わらべうたを うたって たのしみましょう。	おちゃらか ほうい	●			○																	
2 3	12	8. おとを あわせて たのしもう	●互いの歌声や楽器の音を聴き合いながら、気持ちを合わせて歌ったり演奏したりする。 ●楽器の響き合いに気付き、拍の流れやフレーズを感じ取りながら楽しんで聴く。	・たがいの こえを ききあいながら うたいましょう。	やまびこ ごっこ ☆やまびこあそび	●●●●										●				音色 リズム 旋律 強弱 拍の流れ フレーズ 反復		1(3) よいと思うことを行う 4(4) 愛校心				
				・うたごえと がっきの おとを あわせて えんそうしましょう。	とんくるりん ばんくるりん	●●○●	●●●●	●																		
				・たがいの がっきの おとを ききながら えんそうしましょう。	こいぬの マーチ	●○ ○ ○	●●●●	●																		
				・おんがくを たのしみながら ききましょう。	♪ラデツキー こうしんきょく									●●●												
年間	6	巻末	うたいつごう にほんの うた	世代を超えて歌い継いでいきたい日本の歌。	たなばたさま／おしょうがつ／うれしい ひなまつり	●●○ ○														全般		4(5) 郷土愛				
			みんなで たのしく	各校の実態に応じて、弾力的に扱うことのできる教材。	[うたで さんぼ] おつかい ありさん／ちゅうりっぷ／ちょうちょう／ぞうさん／めだかの がっこう／ここのり の うた／こぶたぬきつねこ／こいのぼり／いぬのおまわりさん あいあい おちゃらか ほうい どれみで のぼろう	●● ●●●● ●●●●													2(3) 友情							
※国歌「君が代」の指導については、各校の実態に応じて学習内容や扱い時数をご設定ください。						(国歌) きみがよ	●●●●																4(5) 郷土愛			

●…主となる内容 ○…関連する内容

第2学年		年間学習指導計画作成資料				学習指導要領の内容との関連（例）										道徳との関連（例）				
						◎…共通教材 ♪…鑑賞 ☆…音楽づくり														
扱い月	扱い時数 合計 70	題材名		題材のねらい	学習目標	教材名	A 表現				B 鑑賞		（共通事項）							
							歌唱		器楽		音楽づくり				鑑賞					
							ア	イ	ウ	エ	ア	イ	ウ	エ	ア	イ	ウ	ア	イ	
4	5	1. うたで ともだちの わを ひろげよう	●友達と一緒に歌ったり体を動かしたりする楽しさを感じ取りながら、音楽への興味・関心をもつ。	・みんなでいっしょにうたって、気持ちよくあいさつをしましょう。	メッセージ	●●	●		○											
				・あそびうたを さいたり うたったり しましょう。	♪ロンドンばし／小犬の ピンゴ	●									●		●			
				＊かくれんぼで 楽しく あそんでいる ようすをおもいうかべながらうたいましょう。	◎かくれんぼ	●●	●●													
5	10	2. はくの まとまりを かんじとろう	●音楽に合わせて体を動かしながら歌ったり聴いたりして、拍のまとまりや拍子の違いを感じ取る。	・2びょうしを かんじながら うたいましょう。	はしの上で	●●	●	○	○											
・2びょうしを かんじながら ききましょう。				♪トルコ こうしんぎょく									●●	●						
・3びょうしを かんじながら うたいましょう。				たぬきの たいこ	●●	●	○	○												
6		3. 音の たかさの ちがいを かんじとろう	●音の高さに合わせて歌ったり、楽器で旋律遊びをしたりする。 ●音の高さに気を付けながら、階名で模唱や暗唱をしたり、鍵盤楽器で演奏したりする。	・3びょうしを かんじながら うたいましょう。	かっこう	●●	●	○	○	●●	○	○								
・3びょうしを かんじながら、えんそうしたり きいたり しましょう。				♪メヌエット									●		●					
・いろいろな こえで、かえるの なきごえや ようすを あらわしましょう。				☆かえるの 音あそび									●	○						
7	8	4. ひょうしを かんじて リズムを うとう	●拍子を感じ取りながら、リズム伴奏によって歌ったり演奏したりする。 ●リズム譜に親しみ、簡単なリズムを演奏したり、反復を生かしたリズムをつくったりする。	・うたったり ひいたり しながら、音の たかさを おぼえましょう。	かえるの がっしょう	●	○	●●	●●	●●										
				・音の たかさに 気をつけながら、さいたり うたったり しましょう。	♪ドレミの うた	●		●						●						
				・音の たかさを たしかめながら、うたったり ひいたり しましょう。	ドレミであそぼ	●	○	●●	●●	●●		●●								
		5. いろいろな 音を 楽しもう	●身近な楽器の音色の特徴を感じ取りながら音楽を聴いたり、音色の組み合わせを工夫しながら表現したりする。 ●楽器の音色の違いを感じ取り、演奏の仕方を工夫して選んだリズムで問いと答えを生かしながら音楽をつくる。	☆せんりつあそび											○					
				・いろいろな 音の中から すきな 音を さがしましょう。	♪だがつき パーティー										●●	●	○			
				・がっきの 音の くみあわせを 楽しみましょう。	☆がっきで おはなし									●●	●					
9	9	6. ようすを おもいうかべよう	●楽曲の気分を感じ取りながら、想像豊かに聴いたり思いをもって表現したりする。 ●歌詞の表す様子や気持ちを想像して、歌い方を工夫して歌う。	・いろいろな 音を かさねて 楽しみましょう。	かぼちゃ	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●								
				＊いろいろな 虫たちが いない ようすをおもいうかべながらうたいましょう。	◎虫の こえ	●●	●●	●●	○											
				・人形の ようすをおもいうかべながら ききましょう。	♪人形の ゆめと 目ざめ											●●	●●	●		
10	8	7. 日本の うたを 楽しもう	●日本に伝わるわらべうたの楽しさやよさを感じ取りながら、聴いたり歌ったりする。 ●わらべうたの特徴を感じ取り、音を選んで伴奏の旋律をつくる。	＊きれいな タヤけの ようすをおもいうかべながら うたいましょう。	◎タヤけこやけ	●●	●●	●●	○											
				・かゝしを たいせつに して うたいましょう。	海と おひさま	●●	●●	●●	○											
				・小ぎつねの ようすをおもいうかべながら うたいましょう。	小ぎつね	●●	●●	●●	●●	●●	○	●●	●●							
11	8	8. 音を あわせて 楽しもう	●互いの歌声や楽器の音を聴き合いながら、気持ちを合わせて歌ったり演奏したりする。 ●楽器の響き合いや旋律の特徴に気づき、いろいろな音を合わせる楽しさを感じ取りながら聴く。	・うたごえと がっきの 音を ききあいながら えんそうしましょう。	♪こうしんぎょく										●●	●●	●			
				・うたごえと がっきの 音を あわせて えんそうしましょう。	どこかで	●●	●●	●●	●●											
				＊あかるい こえで のびのびと うたいましょう。	◎はるが きた	●●	●●	●●	●●											
12	8	9. いろいろな 音を 楽しもう	●日本に伝わるわらべうたの楽しさやよさを感じ取りながら、聴いたり歌ったりする。 ●わらべうたの特徴を感じ取り、音を選んで伴奏の旋律をつくる。	・わらべうたに あう ばんそうをつくって 楽しみましょう。	♪ずいずい ずっころばし／あんたがた どこさ	●									●		●			
				・わらべうたに あう ばんそうをつくって 楽しみましょう。	なべ なべ そこ ぬけ	●			○											
					☆ばんそうあそび					○	○		●							
13	13	10. いろいろな 音を 楽しもう	●互いの歌声や楽器の音を聴き合いながら、気持ちを合わせて歌ったり演奏したりする。 ●楽器の響き合いや旋律の特徴に気づき、いろいろな音を合わせる楽しさを感じ取りながら聴く。	・いろいろな がっきの 音を 楽しみながら ききましょう。	♪こうしんぎょく										●●	●●	●			
				・たがいの こえを ききあいながら うたいましょう。	どこかで	●●	●●	●●	●●											
				・うたごえと がっきの 音を ききあいながら えんそうしましょう。	ぶっかり くじら	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●								
14	13	11. いろいろな 音を 楽しもう	●互いの歌声や楽器の音を聴き合いながら、気持ちを合わせて歌ったり演奏したりする。 ●楽器の響き合いや旋律の特徴に気づき、いろいろな音を合わせる楽しさを感じ取りながら聴く。	・うたごえと がっきの 音を あわせて えんそうしましょう。	こぐまの 二月	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●								
				＊あかるい こえで のびのびと うたいましょう。	◎はるが きた	●●	●●	●●	●●											
年間	6	巻末	うたいつごう 日本の うた	世代を超えて歌い継いでいきたい日本の歌。	夕日／とんぼの めがね／シャボン玉	●●	●●	●●	○											
			みんなで 楽しく	各校の実態に応じて、弾力的に扱うことのできる教材。	手のひらを たいように あの 青い 空のように／はるの まきば あえて よかった アイアイ	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	○						
※国歌「君が代」の指導については、各校の実態に応じて学習内容や扱い時数をご設定ください。						(国歌) きみがよ	●●	●●	●●	●●										
																			4(5) 郷土愛	
																			2(3) 友情 3(1) 生命の尊重	

◎…共通教材 ♪…鑑賞 ☆…音楽づくり

第3学年			年間学習指導計画作成資料			◎…共通教材 ♪…鑑賞 ☆…音楽づくり			学習指導要領の内容との関連（例）												道徳との関連（例）				
									A 表現						B 鑑賞		（共通事項）								
									歌唱				器楽		音楽づくり								鑑賞		
									ア	イ	ウ	エ	ア	イ	ウ	エ	ア	イ	ア	イ			ウ	ア	イ
扱い月	扱い時数 合計 60	題材名	題材のねらい	学習目標	教材名																				
年間	2	巻頭	音楽プリズム		リコーダーのなかま／♪ナイチンゲール									○		○						音色		2 (1) 礼儀，真心	
			心をつなぐ歌声	年間を通して愛唱したり，歌う楽しさを味わったりするための歌唱教材。	友だち	●	●	●	●																
4	8	1. 明るい歌声を ひびかせよう	●ハ長調の楽譜に親しみ，音程に気を付けて階名で視唱したり，視奏したりして，読譜に慣れる。 ●自然で無理のない歌い方に親しみ，友達と一緒に歌う楽しさを味わう。	・音の高さに気をつけて，明るい声で歌いましょう。	ドレミで歌おう	●		●		●											音色 旋律 音階 拍の流れ フレーズ	ト音記号 五線と加線 縦線 終止線 プレス	3 (2) 自然への畏敬 動植物愛護 4 (2) 勤労		
＊音の高さに気をつけて，明るい声で歌いましょう。 階名でも歌ってみましょう。				◎春の小川	●	●	●	○																	
5				・楽器といっしょに明るい声で歌いましょう。	海風きって ☆せんりつづくり	●	○	●	●	●	○	●	●												
6				＊拍のながれにのって，明るくのびのびと歌いましょう。	◎茶つみ	●	●	●	○																
7	9	2. リコーダーと なかよしになろう	●リコーダーに親しみながら，その音色を感じ取ったり，基本的な演奏の仕方を身に付けたりする。	・リコーダーに親しみましょう。	♪小鳥のために							●				○	○	●			音色 旋律 音の重なり 拍の流れ	付点2分音符 4分の4拍子 付点4分音符	1 (2) 努力，粘り強さ 3 (3) 感動する心		
				・きれいな音でふきましょう。	ステップ1・2・3／小さな花					●		●													
				・歌に合わせてリコーダーをふきましょう。	とどけよう このゆめを	●	○	○	●	●	●	●													
				・タンギングと息の強さに気をつけながらふきましょう。	♪きらきら星 坂道／雨上がり／かり かり わたれ そよ風							●	○	●	○										
9	6	3. 拍のながれに のって リズムを かんじとろう	●拍子やリズムの特徴を感じ取りながら，拍の流れにのって表現する。 ●反復や変化などの音楽の仕組みを生かして，まとまりのあるリズムをつくる。	・曲のかんじを生かしてえんそうしましょう。	ゆかいな木きん	●	○	○	●	●	●	●								リズム 拍の流れ フレーズ 反復 変化	4分の2拍子	2 (3) 友情，信頼 4 (5) 郷土愛			
・くりかえしや変化を使って，まとまりのあるリズムをつくりましょう。				☆手拍子でリズム										○	●										
10	9	4. せんりつの とくちょうを かんじとろう	●旋律の特徴を感じ取りながら，曲想とその変化を感じ取って聴いたり，楽曲を聴いて感じ取ったことを言葉で表すなどして，楽曲の特徴や演奏のよさに気付いたりする。 ●旋律の特徴を生かして，曲想にふさわしい表現を工夫し，思いや意図をもって歌ったり演奏したりする。	＊日本に古くからつたわる歌のふんいきをかんじとりながら歌いましょう。	◎うさぎ	●	●	●	○												リズム 旋律 反復 変化	4分の3拍子 タイ	3 (3) 感動する心 4 (6) 愛国心		
・せんりつの音の上がり下がりに気をつけてえんそうしましょう。				あの雲のように	●	●	●	●	●	●															
11				・せんりつの音の上がり下がりがリズムに気をつけてききましょう。	♪メヌエット											●	●	●							
12				・せんりつのとくちょうをかんじとってふきましょう。	山のボルカ																				
12	9	5. いろいろな 音のひびきを かんじとろう	●音の特徴や音色の違いを生かして，イメージに合う音を即興的に表現したり，反復などの音楽の仕組みを生かしてまとまりのある音楽をつくったりする。 ●楽器の音の特徴や音色の違いを感じ取りながら，互いの楽器の音を聴いて音を合わせて演奏したり，楽曲の構造に気を付けて聴いたりする。	＊曲の中で気持ちがいちばんもり上がるところを曲の山といいます。 せんりつの音の上がり下がりから曲の山をかんじとって，のびのびと歌いましょう。階名でも歌ってみましょう。	◎ふじ山	●	●	●	○												音色 旋律 強弱 音の重なり 反復 問いと答え 変化		1 (5) 個性の伸長 4 (1) 約束やきまり		
				・「まほうの音楽」を入れて歌いましょう。	おかしのすきな まほう使い	●	●	○	○																
				・音のとくちょうを生かして音楽をつくりましょう。	☆まほうの音楽							○	○	●	●										
				・重なり合う楽器の音のひびきをかんじとりながらえんそうしましょう。	パフ	○	○	○	○	●	●	●	●												
1	4	6. 日本の音楽に 親しもう	●日本の音楽の雰囲気や特徴を感じ取りながら，お囃子の音楽を聴いたり旋律をつくったりして，我が国や郷土の伝統音楽に親しむ。	・重なり合う楽器の音のひびきをかんじとりながらえんそうしましょう。	♪トランペットふきの休日／アレグロ											●	●	●			音色 リズム 速度 旋律 フレーズ		2 (4) 尊敬，感謝 4 (5) 郷土愛		
				・トランペットとホルンのひびきに親しみましょう。																					
				・日本の楽器の音に親しみましょう。	♪神田囃子／花輪ばやし／小倉祇園太鼓												●	●	●						
				・3つの音で，おはやしのせんりつをつくりましょう。	☆らどレの音でせんりつづくり							○	○	●											
2	7	7. 音を合わせて 楽しもう	●旋律や音が重なり合うおもしろさに関心を持ち，互いの歌声や楽器の音を聴いて，声や音を合わせて演奏する。 ●旋律の重なりや強弱の変化を感じ取り，楽曲の構造に気を付けて聴く。	・せんりつが重なり合うおもしろさをかんじとりましょう。	歌おう 声高く	●	○	●	●												旋律 強弱 音の重なり 反復 変化		2 (2) 思いやり，親切 2 (3) 友情，信頼		
				・合奏のゆたかなひびきを楽しみましょう。	♪かね												●	●	●						
3				・合奏のゆたかなひびきを楽しみましょう。	エーデルワイス					●	●	●	●												
年間	6	巻末	歌いつごう 日本の歌	世代を超えて歌い継いでいきたい日本の歌。	どこかで春が／ゆりかごの歌／七つの子	●	●	●	○												全般		3 (1) 生命の尊重 4 (3) 家族愛		
			みんなで楽しく	各校の実態に応じて，弾力的に扱うことのできる教材。	ちびっこカウボーイ 帰り道 ゴー ゴー ゴー きょうりゅうとチャチャチャ こころパレット 春はワクワク また あそぼ よろこびの歌 ミッキーマウス マーチ	●	●	●	○	●	●	●	○										1 (3) 勇気 2 (3) 友情，信頼 4 (4) 愛校心		
※国歌「君が代」の指導については，各校の実態に応じて学習内容や扱い時数をご設定ください。						(国歌) 君が代	●	●	●	●													4 (6) 愛国心		

●…主となる内容 ○…関連する内容

◎…共通教材 ♪…鑑賞 ☆…音楽づくり

第4学年		年間学習指導計画作成資料		◎…共通教材 ♪…鑑賞 ☆…音楽づくり			学習指導要領の内容との関連（例）															道徳との関連 （例）			
							A 表現									B 鑑賞			〔共通事項〕						
							歌唱				器楽				音楽づくり		鑑賞								
							ア	イ	ウ	エ	ア	イ	ウ	エ	ア	イ	ア	イ	ウ	ア	イ				
扱い月	扱い時数 合計 60	題材名		題材のねらい	学習目標	教材名																			
年間	2	巻頭		音楽ブリズム		自然と音														3 (2) 自然への畏敬 4 (6) 国際理解					
				心をつなぐ歌声	年間を通して愛唱したり，歌う楽しさを味わったりするための歌唱教材。	子どもの世界		●	●	●	●	○		○	○										
4	7	1. 明るい歌声を ひびかせよう		●音程やリズムに気を付けて階名で視唱したり，視奏したりして読譜に慣れたり，呼吸や発音の仕方に気を付けて自然で無理のない歌い方で歌ったりする。 ●歌声の重なりや掛け合いに気を付けて聴き，想像したことや感じ取ったことを言葉で表すなどして，楽曲の特徴や演奏のよさに気付く。	・音の高さに気をつけて，明るい声で歌いましょう。	いいこと ありそう		●	○	●	○	○	○	○					音色 リズム 旋律 音の重なり 音階 調	付点8分音符 16分音符	2 (2) 思いやり，親切 2 (3) 友情，信頼				
・2人の歌声による音楽のおもしろさを感じ取りながらさきましよう。					♪ババゲーノとババゲーナの二重唱										●	●	●								
5					・リコーダーと合わせて，明るい声で歌いましょう。	歌のにじ		●	○	●	●	●	○	●	●										
6	8	2. 拍の流れに のって リズムを 感じ取ろう		●拍子やリズムの特徴を感じ取りながら，拍の流れにのって表現する。 ●リズムの組み合わせを工夫したり，反復や変化などの音楽の仕組みを生かしたりして言葉のリズムアンサンブルをつくる。	・拍の流れにのって，歌と打楽器を合わせてえんそうしましょう。	いろんな木の実 ♪ブラジル		●	○	○	●	●	●	●				○	○	○	音色 リズム 拍の流れ フレーズ 反復 問いと答え 変化	リビート記号 8分の6拍子 <i>p</i> <i>mp</i> <i>mf</i> ＜ ＞	3 (2) 自然への畏敬 4 (5) 郷土愛		
・くり返しや変化を使って，リズムアンサンブルをつくりましょう。 ＊歌詞から情景を思いうかべて，のびやかな声で歌いましょう。 階名でも歌ってみましょう。					☆言葉でリズムアンサンブル								●	●											
7					・6拍子を感じながら歌いましょう。	風のメロディー		●	●	●	○														
9	8	3. せんりつ のとくちょうを 感じ取ろう		●旋律の特徴や曲想を感じ取りながら音楽を聴き，感じ取ったことを言葉で表すなどして，楽曲の特徴や演奏のよさに気付いたりする。 ●旋律の特徴にふさわしい歌い方や演奏の仕方を身に付け，曲想にふさわしい表現を工夫しながら思いや意図をもって歌ったり演奏したりする。	・せんりつのとくちょうにふさわしいふき方でえんそうしましょう。	陽気な船長／せいじゃの行進						●	●	●	●					リズム 速度 旋律 強弱 変化	スタカート 1番かっこ 2番かっこ <i>f</i>	3 (3) 感動する心			
・せんりつのとくちょうを生かして歌いましょう。 ＊せんりつの音の上がり下がりを感受取って，強さをくふうしながら歌いましょう。階名でも歌ってみましょう。					◎とんび		●	●	●	○															
10					・せんりつのとくちょうを感じ取りながらさきましよう。	♪白鳥 ♪美しきロスマリン												●	●				●		
11	7	4. せんりつ の重なりを 感じ取ろう		●旋律が重なり合う響きを感じ取りながら，旋律の特徴を生かした歌い方や演奏の仕方を工夫したり，互いの歌声を聴いて声を合わせて歌ったりする。 ●旋律の特徴，旋律の反復や重なりによる曲想とその変化を感じ取り，楽曲の構造に気を付けて聴く。	・せんりつが重なり合うおもしろさを感じ取りましょう。	パレード ホッポー		●	○	●	●									旋律 音の重なり 反復 変化		2 (3) 友情，信頼 3 (1) 生命の尊重 3 (2) 自然への畏敬			
・サミングをおぼえてリコーダーをふきましよう。 ＊声が重なり合う美しさを感じて歌いましよう。					♪ファランドール 雨の公園／ハッピー バースデイ トゥ ユー		○			○	●		●	●											
12					◎もみじ	●	●	●	●																
12	9	5. いろいろな 音のひびきを 感じ取ろう		●楽器の音の特徴や音色の違い，旋律の特徴を感じ取りながら聴いたり，互いの楽器の音や副次的な旋律，伴奏を聴いて音を合わせて演奏したりする。 ●音の特徴や音色の違いを生かして，音の組み合わせを工夫して演奏したり，音の重ね方や反復を生かしてまとまりのある音楽をつくったりする。	・フルートとクラリネットのひびきに親しみましよう。	♪メヌエツ／クラリネット ポルカ												●	●	●	音色 リズム 旋律 音の重なり 反復 問いと答え 変化	シャープ	1 (1) 自立，節度ある生活 1 (5) 個性の伸長 4 (1) 約束やきまり		
・音の組み合わせを考えて，歌と合わせてえんそうましよう。					音のカーニバル		●	○	○	○	○	●	●	●											
・音のとくちょうを生かして音楽をつくりましよう。					☆打楽器の音楽							○	○	●	●										
・ゆたかなひびきを味わいながらえんそうましよう。					茶色の小びん		●	○	○	●	●	●	●	●											
1	7	6. 日本の音楽に 親しもう		●日本の音楽の雰囲気や特徴を感じ取りながら，民謡を聴いたり表現したりして，我が国や郷土の伝統音楽に親しむ。 ●日本の旋律の特徴を感じ取り，音を音楽に構成する過程を大切にしながらまとまりのある旋律をつくる。	・音楽のとくちょうを感じ取りながら，日本の民謡をききましよう。	♪ソーラン節／南部牛追い歌 ♪トラジ打令／小さな淡黄色の馬												●	●	●	音色 リズム 旋律 音階 拍の流れ フレーズ 反復		4 (2) 勤労 4 (5) 郷土愛 4 (6) 愛国心，国際理解		
・日本の音楽のふんいきを感じ取ってえんそうましよう。 ・5つの音で，おはやしのせんりつをつくりましよう。 ＊日本語の美しさや日本のせんりつのか感じを生かして歌いましよう。					こきりこ ☆ミソラドレの音でせんりつづくり ◎さくら さくら ♪さくら さくら		●	●	●	○	●	●	●	○						○				○	●
2					赤いやねの家 オーラ リー	●	●	●	○																
3	6	7. 曲の気分を 感じ取ろう		●歌詞の内容や曲想にふさわしい表現を工夫して，思いや意図をもって演奏したり，曲想とその変化を感じ取って想像豊かに聴いたりする。	・曲の気分を感じ取ってえんそうましよう。 ・音楽が表している様子を思いうかべながらさきましよう。	♪山の魔王の宮殿にて ♪つるぎのまい												●	●	●	音色 速度 旋律 強弱 反復 変化		2 (3) 友情，信頼 3 (3) 感動する心		
年間	6	巻末		歌いつごう 日本の歌 みんなで楽しく	世代を超えて歌い継いでいきたい日本の歌。 各校の実態に応じて，弾力的に扱うことのできる教材。	みかんの花さくおか／せいくらべ／ みどりのそよ風		●	●	●	○									全般					4 (3) 家族愛 4 (5) 郷土愛 1 (2) 努力，粘り強さ 1 (3) 勇気 1 (4) 正直，明朗 4 (4) 愛校心
						友達 シンド バッド 冬の歌 いつだって！ 林の朝 チャレンジ！ クラッピング ファンタジー 第7番（楽しいマーチ） チキ チキ バン バン		●	●	●	○	●	●	●	●										
※国歌「君が代」の指導については，各校の実態に応じて学習内容や扱い時数をご設定ください。						〔国歌〕君が代		●	●	●	●												4 (6) 愛国心		

●…主となる内容 ○…関連する内容

年間学習指導計画作成資料

●…主となる内容 ○…関連する内容

扱い 月		扱い時数 合計 50	題材名	題材のねらい	学習目標	教材名	学習指導要領の内容との関連（例）												道徳との関連 （例）
							A 表現						B 鑑賞		（共通事項）				
							歌唱				器楽		音楽づくり				鑑賞		
ア	イ	ウ	エ	ア	イ	ウ	エ	ア	イ	ア	イ	ウ	ア	イ					
年間	1	巻頭	音楽ブリズム			人をつなぐ音楽											1 (2) 理想、希望、 勇気、努力 2 (3) 友情、協力		
			心をつなぐ歌声	年間を通して愛唱したり、歌う楽しさを味わったりするための歌唱教材。	つばさをください	●	●	●	●										
4 5	5	1. 豊かな歌声を ひびかせよう	● 音程やリズムに気を付けて視唱や視奏をした り、曲想にふさわしい歌い方を工夫して思い や意図をもって歌ったりする。	・明るくひびきのある声で歌いましょう。	明日という大空	●	●	●	○							音色 旋律 強弱 速度 変化	速度記号	1 (2) 理想、希望、 勇気、努力 3 (2) 自然への畏敬	
				＊曲のまとまりや強さの変化に気をつけて、 曲想にふさわしい歌い方を工夫して歌いましょう。	◎おぼろ月夜	●	●	●	●										
6 7	8	2. いろいろな 音のひびきを 味わおう	● パートの役割や楽器の特徴を生かして全体の 響きを味わって演奏したり、楽器の組み合わ せから生まれる響きの美しさを味わって聴い たりする。 ● 楽器の音色やリズム、音楽の仕組みを生かし て、音楽をつくったり演奏したりする。	・パートの役割や楽器の特徴を生かして合奏しましょう。	ラバース コンチェルト					●	●	●	●			音色 リズム 速度 旋律 強弱 音の重なり 拍の流れ 反復 問いと答え 音楽の縦と 横の関係		1 (5) 真理の探求、 創意工夫 3 (3) 感動する心 4 (3) 自己の役割と 責任	
				・オーケストラのひびきを味わいながらききましょう。	♪木星									●	●				●
				＊曲想を生かして歌いましょう。	◎われは海の子	●	●	●	○										
				・打楽器の音色や音楽のしくみを生かして、リズムアンサンブルを つくりましょう。	☆リズムをつくってアンサンブル						○	○	●	●					
9 10	8	3. 和音の美しさを 味わおう	● 和音の響きの変化を感じ取りながら、各声部 の歌声や楽器、全体の響き、伴奏を聴いて合 唱したり合奏したりする。 ● 和音に含まれる音を用いて、まとまりのある 旋律をつくる。	・歌声が重なり合うひびきを感じながら合唱しましょう。	星の世界	●	○	○	●							旋律 音の重なり 和声の響き 音階 調 反復 変化 音楽の縦と 横の関係		1 (5) 真理の探求、 創意工夫 1 (6) 個性の伸長	
				・和音の移り変わりをを感じながら演奏しましょう。	雨のうた					●	●	●	●						
				・和音にふくまれる音を使って旋律をつくりましょう。	☆和音の音で旋律づくり						○	○		●					
				● 曲想にふさわしい表現を工夫し、旋律の特徴 や重なり方を生かして歌ったり、パートの役 割にふさわしい楽器や演奏の仕方 で演奏した りする。 ● 曲想とその変化を感じ取りながら、旋律の特 徴、反復や変化、強弱や速度などによる楽曲 の構造を理解して聴く。	・旋律の音の上がり下がりや重なり方から、表現のしかたを 考えて歌いましょう。	広い空の下で	●	●	●	●								音色 速度 旋律 強弱 音の重なり 反復 変化	
11 12	6	4. 曲想を味わおう		・曲想の移り変わりを味わいながらききましょう。	♪ハンガリー舞曲 第5番										●	●	●		
				・曲想を生かして合奏しましょう。	風を切って	○				●	●	●	●						
	6	5. 詩と音楽を 味わおう	● 歌詞と旋律とが一体となって生み出す曲想を 味わいながら聴いたり、思いや意図をもって 歌ったりする。	・曲にこめられた思いを感じながら歌いましょう。	思い出のメロディー	●	●	●	●								音色 旋律 強弱 フレーズ		3 (2) 自然への畏敬 4 (5) 家族愛
				・言葉と旋律の美しさを感じ取りながら、日本の歌曲を味わいましょう。	♪滝 廉太郎の歌曲（花／箱根八里）	○									●	●			
				＊歌詞の内容を理解して、曲想を味わいながら歌いましょう。	◎ふるさと	●	●	●	●										
1 2	3	6. 日本と世界の 音楽に親しもう	● 日本に古くから伝わる歌と楽器の音色を味 わって、聴いたり歌ったりする。 ● 世界の国々の楽器の音色の特徴や、音楽の雰 囲気の違いに気を付けて聴き、諸外国の音楽 に親しむ。	＊日本に古くから伝わる歌の特徴を感じ取って歌いましょう。	◎越天楽今様	●	●	●	○								音色 リズム 旋律 拍の流れ		2 (1) 礼儀作法、真心 4 (7) 我が国の伝統 文化 4 (8) 国際理解、親善
				・楽器による世界のいろいろな国の音楽に親しみましょう。	♪雅楽「越天楽」から										●	○			
	3	7. 心をこめて 表現しよう	● 歌詞の内容や曲想にふさわしい表現を工夫し て、思いや意図をもって響きのある声や音で 演奏する。	・曲想を生かして表情豊かに演奏しましょう。	きっと届ける	●	●	●	●								全般		2 (2) 思いやり、親切 2 (5) 感謝、報恩 4 (6) 愛校心
				・歌詞の表す気持ちを大切に歌いましょう。	そよ風のデュエット					●	●	●	●						
					さよなら友よ／あおげばとうし	●	●	●	●										
年間	6	巻末	歌いつごう 日本の歌	世代を超えて歌い継いでいきたい日本の歌。	夏は来ぬ／浜千鳥	●	●	●	○								全般		4 (7) 我が国の伝統文化
			みんなで楽しく	各校の実態に応じて、弾力的に扱うことのできる教材。	気球にのってどこまでも Wish ～夢を信じて 旅立ちの日に あすという日が この星に生まれて 歌よ ありがとう メヌエット ALWAYS 三丁目の夕日 コンドルは飛んで行く	●	●	●	●										
※国歌「君が代」の指導については、各校の実態に応じて学習内容や扱い時数をご設定ください。						(国歌)君が代	●	●	●	●									4 (7) 愛国心 4 (8) 国際理解、親善

●…主となる内容 ○…関連する内容

〔共通事項〕の一覧および関連する学習活動例

※〔 〕…関連する教科書ページの一部を例として示しています。

	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年
音 色	・楽器の音色を楽しむ鑑賞 [38,44] ・鍵盤ハーモニカで即興的な音遊び [29] ・いろいろな打楽器で音探し [48] ・声の出し方や発音 [19,42]	・声のおもしろさを生かした音遊び [18] ・打楽器の音色を楽しむ表現や鑑賞[34,38] ・声の出し方や発音 [40,44,48]	・金管楽器の比較鑑賞 [44] ・日本の伝統的な楽器の鑑賞 [46] ・声の出し方や発音 [10,30]	・木管楽器の比較鑑賞 [36] ・打楽器の材質の違いを生かした表現[38,40]	・弦楽器や和楽器の鑑賞 [18,40] ・打楽器の音色やその組み合わせ方を生かした音楽づくり [20] ・声の特徴に注目した鑑賞 [46]	・オーケストラの鑑賞 [16,30] ・打楽器の音色やその組み合わせ方を生かした音楽づくり [20]
リズム	・簡単なリズムの演奏 [16,18,20,22] ・リズム伴奏 [58,60]	・2 拍子や 3 拍子のリズム伴奏 [26,28,30]	・器楽合奏曲のリズム伴奏 [43] ・リズムのまとまりを用いた音楽づくり[26]	・リズムの拡大や縮小を生かした音楽づくり [16] ・旋律や伴奏のリズムを生かした表現 [8,14]	・リズムの組み合わせ方や重ね方を工夫する音楽づくり [20] ・旋律や伴奏のリズムを生かした表現 [10,30,38]	・リズムの組み合わせ方や重ね方を工夫する音楽づくり [20] ・旋律や伴奏のリズムを生かした表現や鑑賞 [8,32,37]
速 度	・速度の違いに注目した鑑賞 [38] ・速度に注目したわらべうたの手遊び [54]	・速度の違いに注目した鑑賞 [42] ・歌詞の内容をもとにした表現 [46]	・速度の違いに注目した鑑賞 [46]	・速度の変化に注目した鑑賞 [54]	・速度の変化によって生み出される楽曲のよさを味わう表現や鑑賞 [26,32]	・速度の変化によって生み出される楽曲のよさを味わう鑑賞 [16] ・速度を生かした表現 [12,32]
旋 律	・音の高さの違いに注目した階名唱[36,46]	・音の高さの違いに注目した階名唱 [20,23,24]	・音の高さの違いに注目した階名唱 [8,10] ・音の上がり下がりや曲の山に注目した表現や鑑賞 [30,32,36] ・旋律の反復や変化を楽しむ鑑賞 [44,51]	・音の上がり下がりや曲の山、スタッカートやレガートなどの特徴に注目した表現や鑑賞 [22,24,26,28,52]	・音の上がり下がりや曲の山、スタッカートやレガートなどの特徴に注目した表現や鑑賞 [26,38,48] ・言葉と旋律の結び付きを生かした表現や鑑賞 [28,32]	・音の上がり下がりや強弱などの特徴を生かした表現 [10,18,28,38,44] ・言葉と旋律の結び付きや語感を生かした表現や鑑賞 [34,36,38]
強 弱	・想像した場面に応じた打楽器の演奏 [50] ・鑑賞曲の強弱に合わせた手拍子 [62] ・「やまびこあそび」 [57]	・リズムの組み合わせを用いた即興的な音遊び [36] ・歌詞の内容をもとにした表現 [48] ・強弱に注目した鑑賞 [12]	・強弱を工夫する音楽づくり [40] ・曲想の変化と強弱に注目した鑑賞 [51]	・旋律の特徴との関連を生かした表現 [24] ・パートのバランスに留意した表現 [42] ・曲想の変化と強弱に注目した鑑賞 [54]	・旋律の特徴や歌詞の内容との関連を生かした表現 [28,36,50]	・旋律の特徴や歌詞の内容との関連を生かした表現 [10,28] ・パートの役割を生かした表現 [14,32]
拍の流れ	・鑑賞曲の拍に合わせた手拍子 [10,62] ・拍打ちを伴った「なまえあそび」 [12] ・拍の流れにのった演奏 [40,58]	・2 拍子や 3 拍子の拍子感の感得 [10,12,14,16,17] ・拍の流れにのった演奏 [58,60]	・4 分の 4 拍子、 4 分の 2 拍子、 4 分の 3 拍子の拍子感の感得 [20,24,30] ・拍の流れにのった演奏 [24,42]	・8 分の 6 拍子の拍子感の感得 [20] ・拍の有無と音楽の特徴との関係 [44] ・拍の流れにのった演奏 [14,38,42]	・拍の流れの変化によって生み出される演奏のよさを味わう鑑賞 [32] ・気持ちを合わせた表現 [12,14,30]	・拍子の違いや拍の流れの変化によって生み出される楽曲や演奏のよさを味わう鑑賞 [15,30] ・拍子感を生かした表現 [44]
フレーズ	・リズムのまとまりの感得 [16,18,20,22] ・【あ→い→あ】で構成された曲の演奏 [58]	・旋律やリズムのまとまりの感得 [30] ・歌詞のまとまりを感じた演奏 [62]	・リズムのまとまりを用いた音楽づくり[26] ・歌詞のまとまりを感じた演奏 [14]	・リズムのまとまりを生かした音楽づくり[16] ・歌詞のまとまりを感じた演奏 [18,34]	・歌詞のまとまりを生かした表現 [28]	・歌詞のまとまりを生かした表現 [10,38]
音の重なり			・音の組み合わせ方や重ね方を工夫する音楽づくり [40] ・歌声や旋律の重なりを楽しむ表現や鑑賞 [42,50,51,52]	・歌声や旋律の重なりを楽しむ表現や鑑賞 [10,30,31,34,53]	・パートの重ね方の工夫 [16] ・声や音の重なり合う響きを感じ取る表現や鑑賞 [12,14,18]	・声や音の重なり合う響きの美しさを生かした表現 [22,24] ・パートの役割や楽器の特徴を生かした表現[14]
音階や調			・ハ長調の音階による曲の演奏 [8,10,12] ・日本の音階による曲の演奏 [28]	・ハ長調の音階による曲の演奏 [8,12,18] ・日本の音階による曲の表現や鑑賞[46,50,51]	・ハ長調やイ短調の音階による曲の演奏 [8,12,22,24,30] ・日本の音階による曲の表現や鑑賞[40,42,44]	・ハ長調やイ短調の音階による曲の演奏 [10,24,32,45] ・日本の音階による曲の表現や鑑賞 [40,41]
和声の響き					・ハ長調の和音の移り変わりの感受 [22,24]	・ハ長調やイ短調の和音の移り変わりの感受 [24,32] ・ハ長調の和音の音による旋律づくり [26]
反 復	・「ことばあそび」「まねっこあそび」 [24,33,35,37,50]	・反復を用いたリズム遊び [32] ・「まねっこあそび」 [23]	・反復を用いた音楽づくり [26,40] ・【ア→イ→ア】の構成に注目した鑑賞 [32]	・反復を用いた音楽づくり [16,40]	・反復を生かした音楽づくり [20]	・反復を生かした音楽づくり [20] ・旋律や言葉の繰り返しによって生み出される曲想を味わう表現や鑑賞 [30,34,46]
問いと答え	・言葉を使ったリズム遊びや「やまびこあそび」 [24,57]	・リズムの組み合わせを用いた即興的な音遊び [36]	・問いと答えを用いた音楽づくり [40]	・問いと答えを用いた音楽づくり [16,40] ・合いの手が入る民謡の鑑賞 [44]	・問いと答えを生かした表現 [20,30]	・問いと答えを生かした音楽づくり [20]
変 化			・変化を用いた音楽づくり [26] ・曲想の変化に注目した鑑賞 [32]	・変化を用いた音楽づくり [16,40] ・曲想の変化に注目した鑑賞 [54]	・曲想の変化を生かした表現 [30] ・曲想の変化を味わう鑑賞 [26,40]	・曲想の変化を生かした表現 [8] ・曲想の変化を味わう鑑賞 [16,30]
音楽の縦と横の関係					・旋律やパートの重なり方の違いを生かした表現と、その工夫 [14,16,20]	・旋律やパートの重なり方の違いを生かした表現と、その工夫 [20,24,28]



指導書の全体構成と特色

教芸の「小学生の音楽」の指導書は、B5判3冊とCD 2点とDVD 1点で構成されています。



実践編

指導に直接かかわる具体的な手だてを掲載しています。

- 学習活動の流れや評価のポイント
- 教材に関連する（共通事項）
- 発問例や指導のポイント

主に、実際の授業に役立つ手近な資料としてご活用いただける1冊です。

授業に
役立つ情報を
掲載

発問例や
指導の
ポイント

学習活動の
流れ

関連する
（共通事項）

評価の
ポイント



研究編

指導計画の作成や学習展開の立案などに役立つ資料を題材ごとに掲載しています。

主に事前の授業研究をサポートする資料としてご活用いただける1冊です。



伴奏編

各教材曲の簡易伴奏譜、本格伴奏譜を収録しています。また、必要に応じて移調楽譜や鑑賞曲の参考楽譜も取り上げています。

指導用CD

教科書の歌唱教材曲、器楽教材曲など、すべての表現教材の範唱・範奏および伴奏を収録しています。

鑑賞用CD

教科書の鑑賞教材全曲と参考曲を収録しています。

音楽授業支援DVD

映像によって学習活動を効果的にサポートします。

- 具体的な身振りなどの活動実践例
- 楽器演奏や発声の際の留意事項
- 楽典など知的理解の支援
- 金管、木管、弦楽器の紹介 など



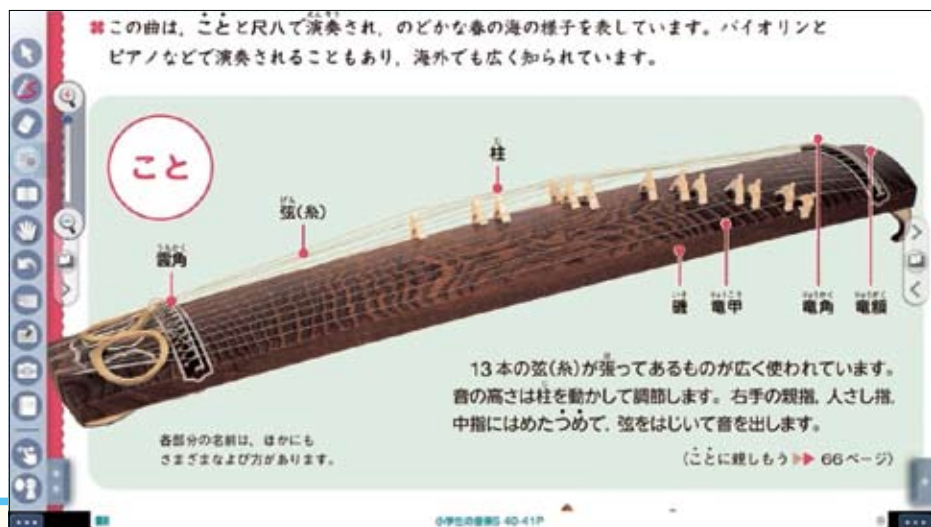
デジタル教科書のご案内

新たな指導用アイテムとして「デジタル教科書」が登場します！

教科書の紙面はもちろん、次のような機能、コンテンツも収録されています。

主な機能

- デジタル教科書の画面には、書き込みや画像データを貼り付けることができます。
- 簡単な操作で画面を拡大・縮小することができます。
- 教科書や資料のページに加えて、オリジナルのページを作成することができます。



歌唱

歌唱教材では、楽譜を大きく映し出し、模範演奏や伴奏を聴くことができます。縦書き歌詞も収録されており、「ふるさと」などの共通教材では、詩の朗読を再生することができます。

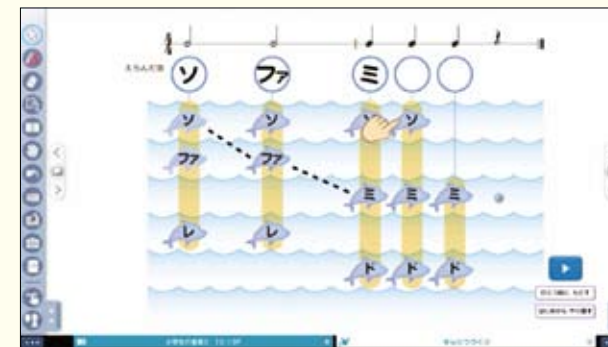


※開発中の画面です。
デザインや内容は変更になる場合があります。



器楽

器楽教材では、ページの内容に合わせたコンテンツを収録しています。例えば、リコーダーの曲には、楽譜を大きく表示しながら、模範演奏と運指が連動するコンテンツを収録しています。



音楽づくり

音楽づくりの教材では、実際の活動をサポートするコンテンツを収録しています。例えば、上の画面では、音を選んでつくった旋律を再生することができます。

鑑賞

鑑賞教材では、教科書の譜例を大きく表示したり、それに対応する音源を聴いたりすることができます。そのほかにも、補助的な動画資料などを収録しています。

拡大教科書のご案内

弱視の子どもたちのために作成される教科書です。音楽を学習するうえで、たいへん重要な要素である「楽譜」の見やすさや使いやすさを第一に考え、楽譜のまとまりを見渡せるように配慮したレイアウトを採用しています。

学習者用音楽デジタル教科書

子どもたちのタブレット端末にインストールして使用する学習者用音楽デジタル教科書もあわせて登場します。



検討の観点別に見た特色

	観点	教科書の特徴	具体例の参照ページ
範囲	● 取り扱う内容の範囲は、学習指導要領の目標及び内容によっているか。	● 低・中・高の各学年の目標及び内容を踏まえて精選された題材と教材によって、必要な範囲の内容が十分に扱われており、音楽科の目標を達成するという観点から極めて適切なものとなっている。	各学年目次・各ページ
程度	● 教材や学習活動の程度は、児童の心身の発達段階や能力の実態に適しているか。	● 音楽的な能力を段階的に無理なく身に付けていくために、各学年に応じて適切な教材が用意されている。 ● 楽曲や歌詞の内容、音域などについても児童の心身の発達段階に応じて十分に考慮されている。 ● 柔軟で弾力的な学習活動を行えるように程度の差が考慮された教材が扱われており、各校や児童の実態に合わせて活動を選択することができるように配慮されている。	1 年 P.16-25 1 年 P.30・31、42・43 2 年 P.38・39、48・49、58・59 3 年 P.42・43 4 年 P.8
内容	● 基礎的・基本的な内容の定着については、適切に配慮されているか。	● 相互に関連性をもった教材の配列により、積み重ねの学習をすることで、音楽活動の基礎的な能力の定着、伸長が着実に図れるように配慮されている。 ● 各学年で学んだ重要な学習事項を、児童が自分で振り返り確認することができる「ふり返りのページ」が設けられており、基礎的・基本的な学力の定着が図られるように配慮されている。	各学年各ページ 各学年 P.72・73
	● 思考力・判断力・表現力を育む内容が扱われているか。	● 感じ取ったことをもとに思考・判断し、理解したことを言葉や音楽で表現できるよう、表現教材及び鑑賞教材においては、譜例（絵譜）や挿絵を用いた説明などが充実しており、それらをもとにすることで、言語活動の充実が図られるように工夫されている。	2 年 P.12・13、54・55 3 年 P.32・33 4 年 P.28・29 6 年 P.35
	● 教材の選択及び扱いは、学習指導を進めるうえで適切であるか。	● 明確な学習の観点のもと、幅広く学習活動を行うことができるように多様な教材が用意されており、児童が意欲的に取り組むことができるような配慮がなされている。 ● 児童の心情に即した新鮮でアイディアに満ちた教材が扱われており、興味・関心をもって学習を進めることができるように配慮されている。	3 年 P.38-41 4 年 P.63 5 年 P.16・17、25、33、62・63 6 年 P.52・53
	● 児童の生活経験や興味・関心、及び自主的な学習活動について配慮されているか。	● 手遊び歌や縄跳び歌などのわらべうた、地域に伝わる伝統芸能など、児童の生活に即した教材が学年段階に応じて、幅広く用意されている。 ● 児童が自ら進んで学習活動に取り組むことができるように、学習の目標や具体的な活動例、ヒント、資料などが豊富に用意されている。 ● 各学年の発達段階に応じたテーマで特集を設け、児童が興味・関心をもちながら主体的に学習を進めていくことができるように配慮されている。 ● 巻末のページには、鑑賞資料やリコーダーの運指表、楽典事項、振り返り事項をまとめて設けているなど、児童が興味・関心をもちながら主体的に学習を進めていくことができるように配慮されている。	1 年 P.52-55 2 年 P.50-53 3～6 年 P.2・3 1 年 P.72・73 2 年 P.72・73 3 年 P.66-74 4 年 P.66-74 5 年 P.66-74 6 年 P.66-74
	● 音遊びや即興的な表現活動など、「音楽づくり」の学習活動について適切に配慮されているか。	● 学習のねらいや活動の手だてが明確に示されており、児童だれもが主体的に「音楽づくり」の学習活動に取り組むことができるように配慮されている。 ● 「音楽づくり」の教材が題材内で有機的に取り上げられており、他の音楽活動と関連させながら学習活動が進められ、学びや思いや意図を相互に生かせるように配慮されている。 ● 「音楽づくり」の教材については、各学年の発達段階を考慮した無理のないステップが踏まれており、学年を重ねるにつれて、着実に学力の積み重ねが行われるように配慮されている。	1 年 P.50・51 2 年 P.36・37 3 年 P.26・27 4 年 P.16・17、40・41 5 年 P.20・21 6 年 P.20・21 2 年 P.53 → 3 年 P.48 → 4 年 P.48 → 5 年 P.44 → 6 年 P.26
	● 我が国の伝統音楽や音楽文化に対する配慮はなされているか。	● 共通教材については「こころのうた」と銘打ち、我が国の文化や自然環境の保護などの視点から説明文や情景写真などが用意されており、児童が知的好奇心や感受性を働かせながら歌うことができるように配慮されている。 ● 各学年に「歌いつごう 日本の歌」として童謡や唱歌などが精選されて取り上げられており、世代を超えて日本の音楽文化を共有することができるように配慮されている。 ● 鑑賞教材として取り上げた伝統芸能や民謡などには、児童に親しみやすい切り口で学習のねらいが設定されており、鑑賞学習のポイントを押さえつつも、音楽的側面から親しめるように配慮されている。	各学年の共通教材のページ 1 年 P.64・65 2 年 P.64・65 3 年 P.54・55 4 年 P.56・57 5 年 P.52・53 6 年 P.48・49 3 年 P.46・47 4 年 P.44・45 5 年 P.66・67

	観点	教科書の特徴	具体例の参照ページ
内容	● 鑑賞曲の選択及び扱いは適切であるか。	● 題材のねらいに即した選曲により、学習内容が明確になっているとともに、授業時間内で繰り返し鑑賞することができるように曲の長さについても配慮されている。 ● 題材のねらいに含まれる〔共通事項〕を橋渡しとして、歌唱や器楽などの表現活動と関連付けられるように鑑賞学習のねらいが設定されており、鑑賞と表現の学習が密接に関連するように工夫されている。	3 年 P.44・45 4 年 P.36・37 ほか 3 年 P.50・51 4 年 P.30・31 5 年 P.14-21
	● 国際理解、情報、環境、人権教育など、社会的及び道徳的教育課題の扱いは、適切に配慮されているか。	● アジアや世界の音楽文化を扱った教材や原語を取り入れた教材、自然や社会、道徳的心情をテーマにした教材、インターネットの活用などを示唆する吹き出しが用意されるなど、適切に配慮されている。	[2 年 P.4-7 5 年 P.46・47、60・61 6 年 P.42・43 [3 年 P.6・7、60 5 年 P.8・9、54・55 6 年 P.44・45 [3 年 P.68・69 4 年 P.68・69
〔共通事項〕	● 〔共通事項〕は、学習指導を進めるうえで適切に扱われているか。	● 〔共通事項〕の学習は、そのみに特化することなく、表現及び鑑賞の各活動と一体となって機能的に組織されており、児童が理解しやすい言葉を用いた文章や吹き出しなどで繰り返し示されるなど、適切に扱われている。	各学年各ページ
全体の構成	● 各学校や児童の実態に応じた学習指導計画を立てるための配慮がなされているか。	● 全学年の系統は題材と教材の扱いによって維持され、題材ごとに教材、活動、程度などが柔軟に選択できるように弾力的に組織されており、学習指導計画の作成に当たり、各学校や児童の実態に対応できるように適切に配慮されている。	各学年各ページ
	● 系統的・発展的に組織されているか。	● 学習指導要領に示されている低・中・高の各学年の目標及び内容を踏まえた題材構成が採られており、各学年、全学年を通して系統的・発展的に組織されている。 ● リズム唱、階名唱、合唱などの歌唱の技能や、鍵盤ハーモニカやリコーダーなどの演奏の技能については、発達段階を考慮した無理のないステップが踏まれている。	リズム唱：1 年 P.16-25 階名唱：1 年 P.36・37 2 年 P.22・23 3 年 P.8 4 年 P.8 ほか 鍵盤ハーモニカ：1 年 P.28-35 2 年 P.20・21 3 年 P.8 リコーダー： 3 年 P.16-23、34・35 4 年 P.22、32・33
	● 教材の配列は、単なる羅列ではなく、教材性に即して適切であるか。	● 系統性及び発展性をもって組織化された題材を軸に、表現と鑑賞の教材が関連、対照、対比されながら組み合わせられており、教材性を生かした多様で効果的な学習が展開できるように配列されている。	各学年各ページ
	● 教材や文章の分量、バランス、内容は適切であるか。	● 題材、教材の分量及びバランスは、各学年の授業時数に配慮したものとなっている。 ● 題材のねらいに即して、学習内容や関連教材などが有機的に組織されており、教材や学習活動の分量を弾力的に増減できるように配慮されている。 ● 文章は児童に分かりやすく丁寧に示されており、文章量も適切なものとなっている。	各学年各ページ
表記・体裁・装丁	● 説明文やイラストなどは、学習指導を進めるうえで適切であるか。	● 楽譜や文字の大きさなどは、児童の発達段階に応じて設定されており、見やすさや読みやすさについても十分な配慮がなされている。 ● イラストや写真などの取り上げ方もアイディアにあふれ、音楽的感覚の育成や知的理解、学習活動の一助となるように、児童の感性に即して適切に扱われている。	各学年各ページ 1 年 P.20-23、44・45 2 年 P.12・13 3 年 P.2・3 4 年 P.6・7 6 年 P.68・69
	● ユニバーサルデザインへの配慮がなされているか。	● 教科書紙面全体として、区別しやすい配色を用いながら、学習上の必要に応じて形状や濃度を違えるなど、確実に識別できるように配慮されている。 ● 文章や歌詞、楽譜などの近くにイラストや写真が配置される場合には、学習上必要な情報に確実に注目することができるよう、シンプルなデザインが採用されており、学習障害などをもつ児童への配慮が行き届いている。	各学年各ページ
	● 全体の体裁は、学習指導を進めるうえで適切であるか。	● 紙面の大きさは適切で、レイアウトも見やすく統一感がある。 ● 題材ごとに通し番号が振られ、ツメによって題材のまとまりが分かりやすく示されるなど、見通しをもって学習することができるように工夫されている。	各学年目次及び各ページ
	● 印刷・製本などは適切であるか。	● 楽譜、文字、イラスト、写真など、印刷の発色もよく、鮮明なものになっている。 ● 製本は開きがよく、長期の使用に十分に耐える堅牢なものとなっている。 ● 再生紙の使用や、リサイクル可能な表紙加工が施されるなど、環境にも配慮されている。	各学年各ページ

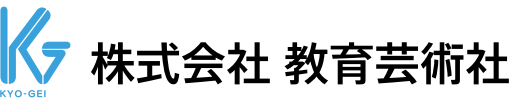
著 作 者

【監修】

小 原 光 一 元横浜国立大学教授
飯 沼 信 義 桐朋学園大学名誉教授
浦田健次郎 東京芸術大学名誉教授

【執筆・編集】

石 上 則 子 前東京都板橋区立徳丸小学校主任教諭
荻久保和明 作曲家
黒 澤 吉 徳 作曲家
鹿谷美緒子 作曲家
杉 本 竜 一 作曲家
富 澤 裕 合唱指揮者
長谷部匡俊 作曲家
吉 澤 実 リコーダー奏者
ほか 2 名
教育芸術社編集部



株式会社 教育芸術社

本 社 〒171-0051 東京都豊島区長崎 1-12-15 TEL. 03-3957-1175 (代)
中部支社 〒460-0024 名古屋市中区正木 4-8-7 れんが橋ビル 8F TEL. 052-678-3151 (代)
関西支社 〒540-0003 大阪市中央区森ノ宮中央 1-14-17-601 TEL. 06-6943-7245 (代)
西部支社 〒751-0808 下関市一の宮本町 2-7-14 TEL. 083-256-4747 (代)
ホームページ <http://www.kyogei.co.jp/>

※環境に配慮した紙を使用しています。

平成
27
年度

小学生の音楽 1～6
内容解説資料

平成 27 年度

小学校用教科書
内容解説資料

小学生の 音楽 1～6

132～632



教育
芸術
社



教育芸術社